



みんなで育てる
こども夢プラン

第1章 めざす姿



めざす姿

「子育てするならわがまちで！」

～こどもが夢を持ち、子育てに喜びが持てる、

このプランは、子どもを持ちたいという県民の願いがかない、子育ての主役である父と母が安心と喜びの中で子育てでき、子どもは夢を持っていきいきと育ち、元気な声がまちのあちこちにあふれていて、そんな姿を県民みんなが誇りに思っている広島県の実現を目指しています。

その思いを込め、『「子育てするならわがまちで！」とみんなが誇れる広島県』をプランのめざす姿としました。

更に、具体的なイメージとして「こども」「家庭」「地域・社会」について掲げています。

県は、これらの実現のため各局部が連携して全力で取り組むとともに、県民の皆さんや企業、団体、NPO、市町などの先頭に立ち、また、多様な主体の協働による子育て応援の取組のコーディネーターとしての役割を果たします。

総括目標

みんなで応援することで、安心して子育てでき、
子育てに楽しみや喜び、生きがいを感じる人を増やします。

子育てに楽しみや喜び・生きがいを感じる人の割合 (県政世論調査)	平成20(2008)年度	平成26(2014)年度
	45.6%	60%

いきいきとした こども

のびのびと育ち、明日は何をしようかとワクワクしながら眠りにつく子ども
生命(いのち)を大切に、他人を思いやる心を持つ、笑顔あふれる子ども
将来に夢と希望を持ち、挑戦する意欲にあふれ、努力する子ども



このプランは 次の3つの視点を常に大切にすることを基本姿勢としています。

I こどもの幸せを第一に考えるという視点

子どもが幸せに育つことは、すべての県民の願いです。

生まれた子どもが安心してのびのびと育ち、その利益が最大限に尊重され、将来に夢と希望を持ち、挑戦する意欲

にあふれ、社会の一員として自立した大人に育つ環境をつくることを何よりも優先し、プランに掲げるすべての施策は、「こどもの幸せ」を中心に据えて進めます。

II 子育てを男女がともに

男性も女性も、希望するバランスで生活と仕事と子育てを同時に実現でき、家庭を持ち子どもが生まれたら、父母が子育ての主役として力を合わせて子

とみんなが誇れる広島県

みんなで応援する社会をめざして～



安心して 子育てしている家庭

子育てを父と母がともに担い、子どもの成長をみんな喜んで
いる家庭
地域の支えを受けて、孤立しないで楽しく子育てしている家庭
子育てに自信と責任を持ち、安心して子どもを
生み育てている家庭

みんなで子育てを 応援する地域・社会

子どもを社会の宝として大切にし、夢を育み、地域ぐるみで子育てしているまち
仕事も子育ても充実できるよう、みんな
で応援しているまち
子どもの元気な声があちこちにあふれ、
活気に満ちているまち



担い分かち合うという視点

子どもを育て、喜びも悩みも分かち合いながら暮らせる社会をつくるという意識を常に大切にしながら施策を進めます。

Ⅲ 子どもの社会の宝としてみんなではぐくむという視点

安心と喜びの中で子育てができ、子どもがいきいきと育つには県民一人ひとりが、子どもや子育てに対する関心と理解を深め、積極的に応援することが大切であり、更に県民や企業、NPO、地域社会、医

療関係者、教育関係者、福祉関係者、行政など多様な主体の協働で進めることが重要であることから、施策の推進に当たっては、子どもを社会の宝として、みんなで育てていくという意識を持って進めます。

「みんなで育てるこども夢プラン」の実施計画（第1節～第3節）



第1節

みんなでこどもと 子育てを応援

～広島県方式“みんなで子育て応援”を進めます～



第2節

安心・安全な 出産・子育てを応援

～子育ての主役となる
パパ・ママのスタートを応援します～

【男女が仕事と子育てを
両立できる環境づくり】



第3節

子育て家庭を きめ細かくサポート

～仕事も子育ても充実できるよう
パパ・ママを応援します～



【子育て不安や負担を
軽減する仕組みづくり】

第1節

～めざす姿～

県民一人ひとりが、子どもを社会の宝として大切に、地域社会全体に子どもと子育てを応援する機運が満ちあふれ、実践しています

生活と仕事と子育ての調和が実現し、男性と女性がともに子育てを担っています

達成目標

項目	現状（H21）	目標（H26）
子育て応援イクちゃんサービス実施事業所数	2,816店舗	5,000店舗

第2節

～めざす姿～

安全に安心して妊娠・出産ができ、子どもを生み育てる希望がかなえられています

県内どこに住んでいても、子どもの健やかな成長に必要な医療を受けることができます

疾病や障害に対する支援が充実し、子どもは健やかに成長しています

達成目標

項目	現状（H21）	目標（H26）
周産期母子医療センターが整備された二次保健医療圏域数	5圏域	全圏域（7圏域）
24時間小児救急医療体制が整備された二次保健医療圏域数	6圏域	全圏域（7圏域）

第3節

～めざす姿～

保護者のニーズに応じた質の高い各種保育サービスが提供され、保護者は安心して働き、子どもはいきいきと健やかに育っています

男女がともに安心して子どもを生み育てながら、働き続けることができる職場環境が整っています

地域の子育て相談・支援の取組が充実し、安心して子育てしています

経済的負担が軽減されて修学・受療の機会が確保され、公営住宅への入居環境が整備されています

ひとり親家庭の誰もが自立し、安心して暮らしています

障害のある子どもが地域で安心していきいきと生活し、障害のない子どもとともに生きていることを実感しています

達成目標

項目	現状（H21）	目標（H26）
待機児童数	113人（H21.4.1現在）	0人（H27.4.1現在）
保育所定員	58,286人	61,178人
病児・病後児保育実施か所数	29か所	45か所
放課後児童クラブ実施小学校区数	464小学校区	全小学校区
放課後子ども教室実施小学校区数	150小学校区	177小学校区（平成22年度）
男性の育児休業等促進宣言企業数	0企業	200企業
地域子育て支援拠点事業実施か所数	105か所	139か所
一時預かり（一時保育）実施か所数	233か所	273か所
Kids情報送信サービス会員数	21,988人	40,000人
高等技能訓練促進費事業実施市町数	20市町	全23市町

「みんなで育てるこども夢プラン」の実施計画（第4節～第6節）



第4節

配慮が必要な こどもと家庭を支援

～特に配慮が必要なこどもと
家庭への支援を強化します～



第5節

次代を担うこどもの成長を支援

～夢・希望・志を持った、
いきいきとしたこどもに育てます～



第6節

こどもを守り はぐくむ地域を応援

～地域ぐるみの子育てを広げます～

第4節

～めざす姿～

地域の子どもと家庭に関する相談体制が確立され、安全に安心して生活しています
要保護性の高い困難な相談に、迅速に対応できる体制が整備されています
地域社会で子どもと家庭を守る支援体制を構築しています
社会的な支援により、すべての子どもが心身ともに健やかに育成される社会となっています

達成目標		
項目	現状（H21）	目標（H26）
児童家庭支援センターの設置か所数	0か所	3か所
要保護児童の里親への委託率	6.0%（H20年度末）	12.0%
ファミリーホームの設置か所数	1か所	5か所
自立援助ホームの設置か所数	0か所	3か所

第5節

～めざす姿～

人とかがわり、自己表現力を身につけ、心身ともに健やかに育ち、小学校に入学することを待ち望んでいます
将来の夢や目標を実現できるよう、確かな学力が定着しています
生命（いのち）を大切にし、他人を思いやり、社会の一員としての自覚を持つなど、豊かな心が育っています
健やかな体づくりのため、「健康」の大切さを理解し、生涯にわたってスポーツに親しむ習慣や健全な食習慣など基本的な生活習慣が身につけています
社会全体で非行の未然防止や非行からの立直り支援に取り組み、子どもはいつでも何度でも夢と希望に向かって立ち上がることができます
社会全体で子どもに有害な環境を改善し、健全な育成環境が整っています
社会人として自立するために必要な資質・能力が身につけ、挑戦する意欲があふれています
就業を人生設計の中で主体的に位置付け、次代の社会を担う意欲にあふれ、活動的で自立した若者に育っています。
仕事を持ち、家庭を築き子どもを生き育てたいと思う男女の希望がかなう社会づくりが進んでいます

達成目標		
項目	現状（H21）	目標（H26）
基礎学力が定着している児童生徒の割合	【小学校】国語80.7% 算数88.2% 【中学校】国語79.0% 数学70.5% 英語64.2%	全教科85%以上
基礎学力が定着している生徒が6割を超える学校の割合	【県立高校】34.1%	50%
将来の夢がかなうと思う児童生徒の割合	小学校 81.0% 中学校 59.0%	現状値より向上
児童生徒の体力・運動能力調査の全国平均以上の種目の割合	71.1%	75%（H22年度）
朝食を摂らない児童生徒の割合	小学校 3.0% 中学校 6.2%	0%に近づける
最終学年生徒におけるインターンシップ体験生徒の割合（県立高校）	30.3%	40%
新規高校卒業業者就職率	95.7%（全国平均93.2%） （H21.3卒業者）	常に全国平均以上

第6節

～めざす姿～

子どもは夢や目標を持っていきいきと輝き、地域社会は子どもを見守り子どもの夢の実現を応援する機運に満ちています
NPO・ボランティア団体等が子どもの健全育成活動に積極的に参画し活躍しています
安全・安心が確保され、子どもの日々の活動が豊かでありいきいきとしています
犯罪被害、交通事故及び災害などから身を守るための知識やIT社会における情報モラルを身につけ、自分を守ることで子どもに育っています
公共空間のバリアフリー化や住宅へのユニバーサルデザインの普及等により、妊産婦や乳幼児を連れた人、障害のある子どもなど、すべての子どもと子育て当事者が安全・快適に旅客施設や建築物等を利用しています

達成目標		
項目	現状（H21）	目標（H26）
県とNPOとの協働事業数	36事業	46事業（H22年度）
通学路における安全ボランティアによる見守体制が整っている公立小学校の割合	65.9%	100%

